

北海道立農業大学校は  
北海道で農業を  
志す人のための  
学校です。







畜産経営学科



畑作園芸経営学科



稲作経営専攻コース



農業経営研究科

北海道立農業大学校は、十勝地方東北部の本別町に位置し、全道・全国から明日の北海道農業を担う学生が集まっています。学生たちは、240haの広大なキャンパスに整備した校舎や農場、牛舎、加工施設等を存分に活用して、自ら課題設定した実習に日々汗を流し、農業経営者としての力を蓄えていきます。

## 学科及び研修

課程・部門	学 科	専攻・コース	定 員	修業年限	受 験 資 格
養成課程	畜産経営学科 畑作園芸経営学科	乳牛・肉牛 畑作・野菜	60 (各学科55 66/30名)	2年	高等学校若しくはこれに準ずる学校若しくは中等教育学校卒業 (見込み含む)
研修部門	稲作経営専攻コース	稲 作 経 営	10	2年	(見込み含む)
研究課程	農業経営研究科	畜産専攻 畑園専攻	10	2年	農大養成課程、短期大学等卒業 (見込み含む)



## 北海道立農業大学の概要

### 沿革

昭和21年	「北海道庁立農業講習所」として発足
昭和49年	「北海道立農業大学校」に改組
昭和54年	修業年限を1年制から2年制に改組
昭和60年	「養成課程」を2学科4専攻コースに拡充 「研修部門」の新設と「稲作経営専攻コース」の新設
平成11年	研究課程「農業経営研究科」の新設 農大改築落成・創立50周年記念式典
平成18年	学校教育法に基づく「専修学校」に位置付け
平成19年	農業系4年制大学への編入が可能に
平成20年	養成課程の卒業者に「専門士」の称号を付与

### 用地面積 (単位:ha)

普通畑	21.9	林地	112.0
飼料畑	12.7	建物施設 その他	44.5
採草畑	35.1	計	240.0
放牧畑	13.8		

### 農場の概要

主な栽培作物  
**畑作物** てんさい、ばれいしょ、秋まき小麦、大豆、小豆、枝豆、休閒緑肥

主な栽培作物  
**野菜** たまねぎ、レタス、ブロッコリー、にんじん、はくさい、だいこん、ながいも、スイートコーン、かぼちゃ、ごぼう、メロン、トマト、ねぎ等

**畑園関係の主な施設** 育苗用固定温室5棟、ビニールハウス10棟、作物調整貯蔵施設、野菜集出荷選別施設、作物調査分析施設、有機農産物栽培用堆肥舎

**家畜飼養頭数**  
(令和6年2月)【頭】  
乳用牛(ホルスタイン) 44頭  
飼養頭数(経産牛25頭、育成牛19頭)  
肉用牛(黒毛和種) 35頭  
(繁殖牛17頭、育成牛14頭、肥育牛4頭)

**畜産関係の主な施設** フリーストール牛舎、3頭複列オートタンデム型ミルクキングパーラー、肉牛舎、スラリータンク3基(地下式)、堆肥舎、バンカーサイロ5基、家畜演習施設、現場演習教室、乾草舎2棟等

### 各種認証

令和2年	JAS有機ほ場認証 ASIAGAP認証取得(いちご)
令和3年	農場 HACCP認証取得(乳用牛・肉用牛)
令和4年	食品 HACCP認証取得(アイスクリーム)

## 北海道立農業大学の施設



教室



講堂



図書室



ミルクキングパーラー



肉牛舎



乳牛舎



温 室



土壌分析実習室



生物工学実験室



# 農大最大の魅力とは…

## プロジェクト学習

実践的な学習でスキルアップ



肉牛の体測



自走給餌器の操作方法習得



販売実習



豆類生育調査

農業大学校のカリキュラムは、教養科目や専門科目の授業・実習を通して、農場、牛舎で農業経営者に必要な実践する力を養います。各自の課題に基づいたプロジェクトに自ら取り組むことにより、社会の変化に対応できる経営する力を養います。

## 農家体験学習・先進地農業視察研修

実際に現地で調査・研修



※R5は九州研修



先進農家体験学習



水稻実習



施設園芸部

北海道内の先進的な農家で1か月間の実習(養成課程1年生必修)、先進地農業視察研修(養成課程2年生選択科目)を通じて、知識・技術を修得します。さらに、自ら希望の地域と経営内容を調査し、未来を担う農業経営者として、広い視野に立った農業観と鋭い経営感覚を養います。

## ■入校から就農まで



※新規就農の場合には、市町村での研修と数百万の自己資金が必要になります。



# 在校生の進路

学生の声

## 向田 千紗

進学(帯広畜産大学3年次編入)

畜産経営学科(東京都出身、日本大学櫻岡高等学校卒業)

私は牛の健康な体の面白さや牛乳生産までの長い過程を知る機会があり、その経験から酪農についてより詳しく学びたいという思いで、東京を離れて北海道立農業大学校に入校しました。農大での授業や実習、プロジェクト活動などを通して知識や技術を得る機会が多くありました。

入学当初は雇用就農を希望していましたが、農業を勉強していくなかで、作業の大変さや地域との関わりの大切さを学び、當農に携わる仕事が出来たいと感じるようになりました。そこで指導員の方々と進路相談をした結果、大学進学を目指すことにしました。受験前は教務課の先生方が小論文や面接のアドバイスをたくさんくださり、懸命にサポートしていただいたおかげで、無事大学に合格できました。

卒業後は帯広畜産大学で農業経済学を学びます。農大で学んだ農業の大変さや地域と関わる大切さ、これから学ぶ経営知識を活かし、農業に寄り添いながら北海道の農業がより良いものになる仕事ができるよう精進していきます。

進路選択のひとつに農大卒業後に大学編入もあるので、ぜひ検討してみてください。

## 今 海青

雇用就農(有限会社カドフキ牧場)

畜産経営学科(豊浦町出身、北海道知内高等学校卒業)

私は小さい頃から動物に関わる仕事が出来たいと考えていました。また、両親が雇用で黒毛和牛の繁殖を管理していたのもあり、牛のことについて短い期間で実践的なことも学べる農業大学校への入学を決めました。出身校である知内高校は普通科であったため、農業の知識がありませんでした。入校してみると無知な私でもわかりやすく、おいていかれるようなこともない環境で技術と知識を学ぶことができました。

また、肉牛管理部の部長になり、共進会や黒毛和牛の管理などについても詳しく学ぶことができたのと同時に人をまとめることなどの難しさも学ぶことができました。さらに、東畜人工授精師や牛前蹄師、それ以外にも様々な資格の取得ができました。

卒業後は豊浦町にある両親と同じ法人に就職し、パートナーとともに新規就農を目指していきます。私は北海道出身でしたが道外出身の人も多いため、将来、農業をやっていく上での農業大学校で知り合った人たちは大切なものとなります。これからの農業を支える一人のためにもぜひ、農業大学校で学んでみてはどうでしょうか。

## 長廻 湧丞

自家就農(株式会社南風ファーム)

畜産経営学科(清里町出身、北海道清里高等学校卒業)

自家は清里町にあり、種作肉牛の営農を行っています。肉牛は黒毛和種を飼育しており、素牛の販売をメインで行っています。畑作物は小麦や大豆、山わさびを栽培しています。私は普通科高校出身のため農業に対する知識が乏しく、牛に対する実践経験を積み、自家で即戦力として働くために北海道立農業大学校へ進学することを決意しました。

農大では様々な知識や経験を得ることができます。実習では実際に、牛の管理や機械操作を行うことができます。入学当初の私はまだ経験が浅かったため、作業を行うことが苦手と感じていましたが、実習を重ねていくうちに作業に慣れることができました。他にも、畜舎当番では牛の飼養管理や搾乳などの作業ができ、管理部門と呼ばれる専門知識を深める実習では乳牛、肉牛、飼料作物に分かれて、それぞれの知識を深めることができます。

私は農大に入校して、自家の経営を引継ぐための知識や経験、資格などを得ることができました。農家・非農家に関わらず、農業をしたい方は、ぜひ北海道立農業大学校へ入学してみてください。

## 中田 匠

雇用就農(有限会社 ライフ)

畑作園芸経営学科(上士幌町出身、北海道士幌高等学校卒業)

私の家は非農家で「農家になりたい」という目標があったため、士幌高校を卒業した後、北海道立農業大学校に進学しました。農業大学校を選んだ理由は、数多くの実践的な実習があり技術を磨くことができることと、フォークリフトや小型移動式クレーンなどの多くの資格を取得できるためです。また将来は農業に従事したいという同じ気持ちや目標を持った仲間と切磋琢磨し、繋がりを持つのも魅力の一つです。農業大学校でのたくさんの繋がりに助けられたり、励まされたり、将来きっと役に立つはずでした。

卒業後は南幌町の有限会社ライフに就職が決定しています。就職先でも農業大学校で学んだことは、大いに役立つと思います。農業大学校にきたら周りにたくさん相談できる仲間がいるので不安はありません。ぜひ、皆さんも素晴らしい出会いを求め、農業大学校へ入学してみませんか？

## 山田 陽己

自家就農(山田農場)

畑作園芸経営学科(湧別町出身、北海道遠軽高等学校卒業)

自家は湧別町にあり、たまねぎ、小麦、てん菜、ブロッコリーを栽培しています。私は後継者として家業を継ぐために、北海道立農業大学校に進学して学ぶことにしました。

1年次には、農業の基礎知識や技術、経験を産学や専攻実習、研修を通して学びました。また2年次のプロジェクト学習に向けて日々勉強をしていました。2年生になると、本格的な作物栽培を主体とした様々な学習が始まりました。

その中心がプロジェクト学習で、学生が主体的に活動する学習方法であるため、計画立案から、実行まで楽しい壁に何度もぶつかっていました。しかし、仲間と協力して何度も壁を打ち破り、成功した時の達成感は何では得られない、とても嬉しいものでした。また、職員の手助けも手厚く、コミュニケーションも取りやすいため、分からないことなどを気軽に聞け、課題解決が図れました。

寮生活は見知らぬ人との共同生活で心配だという気持ちでいっぱいでしたが、いざ生活してみると学校の授業や実習以外でも一緒にいることで仲が深まり、今となっては楽しい生活が送れることが出来ました。

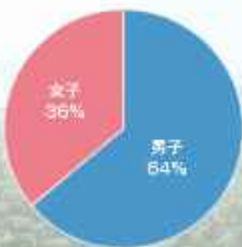
このように北海道立農業大学校では、実習や寮生活を通じて農業に携わる仲間を作り、農業に必要な知識や技術、経験を常日頃から積むことができます。日本の食の未来を担う農業を仲間と協力して共に歩んでみませんか？

## 就職先

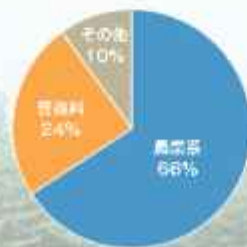
- 就農(自家・雇用)
- 酪農ヘルパー
- 農業機械メーカー
- 農協
- コントラクター
- 試験研究機関
- 農業公社
- 家畜人工授精所

## 2024年度学生概況(養成課程)

■男女比



■出身高校



■出身地



■卒業生の進路



## 北海道普及職員への道

学校教育法に基づく大学  
(短期大学を除く。)

又は

農業改良助長法施行規則  
第4条第1項第2号に  
該当する施設

→道内では「北海道立農業大学校の研究課程」が該当になります。

受験資格の詳細は進学の採用情報ホームページの総合案内をご覧ください。





# 畜産経営 学科



乳牛管理



## 学科の特色

畜産経営学科では、乳牛及び肉牛、草地管理について学びます。  
農場では約90頭の乳牛・肉牛を飼育し、飼料作物の栽培、家畜の飼養管理、衛生管理、繁殖技術や経営管理技術を学びます。



## 主な科目

農政・経済、農業経営、農業簿記、農業簿記演習、経営分析論演習、経営設計、経営設計演習、農業機械学、農業機械学演習、スマート農業機械学演習、家畜栄養学、家畜解剖学、家畜飼養論、飼料作物学、家畜繁殖学Ⅰ、家畜育種論、環境土壌学、農場HACCP概論、専攻実習、体験学習、畜舎管理実習



取得を目指す資格等!!

家畜人工授精師(牛)

牛飼師(2級)

ガス溶接技能講習

アーク溶接特別教育





肉牛管理



「農業大学校に入校して」 畜産経営学科 児島 優斗 (浜中町出身 北海道別海高等学校卒業)



私は将来、北海道で酪農をやりたいと考えています。そのために必要な知識や技術を身につけるために、北海道立農業大学校への進学を決めました。農大では普段の実習や畜舎当番などの農場運営を学生が主体的に行います。家畜人工授精師や副蹄師の免許も取得することができるため将来の幅を広げることができます。実習が多くあるため実践的な経験をたくさん積むことができることや、集団で作業するためコミュニケーション能力も身に付きます。個人のスキルアップだけでなく協調性や団結力を養うことができるのもこの学校の魅力の一つだと思います。

また、牧草収穫や肥料散布、堆肥移動などの機械作業も学生が行います。基礎的な操作方法を学んだ後は、教員や仲間アドバイスを受けながら何度も実際に作業する時間があるため、やったことがない人や苦手な人も関係なく挑戦することができます。講義では外部講師の方が来てくれることもあり、専門的な話をたくさん聞くことができます。高校まで農業について何も知らなくても畜産の基礎からしっかり学ぶことができ、農大を卒業後は日本の農業の担い手、即戦力として活躍することができます。

私は将来、経営改善を行いつつ、日々成長していく酪農家になりたいと考えています。酪農を経営していく上で必要な知識や技術を身につけるために日々の講義や実習に取り組んでいます。農業に少しでも興味がある人や、進路に悩んでいる人はぜひ農業大学校に入校してほしいです。

フォークリフト運転  
技能講習

車輻系建設機械  
(整地等)運転技能講習

家畜商

危険物取扱者  
(乙種4類)

日本農業技術検定



# 畑作園芸 経営学科



施設園芸部



畑作部



## 学科の特色

畑作園芸経営学科では、作物栽培技術、機械操作、生産管理について生産から販売までを体系立てて学びます。農業実習は、1年生は作物栽培を総括的に、2年生は自ら立案したプロジェクトに応じて畑作部、露地野菜部、施設園芸部に分かれて農場運営を通じて学習します。また、GAP認証ほ場での栽培にも取り組んでいます。

## 主な科目

農政・経済、農業経営、農業簿記、農業簿記演習、経営分析論演習、経営設計、経営設計演習、農業機械学、農業機械学演習、畑作園芸機械施設演習、生物工学演習、土壌肥科学、土壌肥料実験、植物生理概論、GAP概論、専攻実習、体験学習

取得を目指す  
資格等!!

玉掛け技能講習

小型移動式クレーン  
運転技能講習

ガス溶接技能講習

アーク溶接特別教育





露地野菜部



「農業大学校に入学して」

畑作園芸経営学科 玉森 乙葉  
(七飯町出身 北海道大野農業高等学校卒業)

私は非農家出身ですが、農家の叔父の手伝いをしながら土に触れてきました。それがきっかけで農業高校に進学し、高校で食品や6次産業化を学んでいくと、生産にも興味を持ち、生産者としての立場で農業を学びたいと思い北海道立農業大学校に入校しました。

農業大学校には、農家や農業従事者を目指す同志が北海道内外から集まっています。そのため様々な価値観に触れることができ、日々、新たな発見や学びにあふれ、農業の知識や技術を互いに高め合うことが出来ます。

また、農業大学校の授業には「プロジェクト実践」という自家や地域の課題解決に向けた研究や、将来自分が栽培したい作物について研究する活動があります。私は将来、施設園芸を主とする観光農園に携わりたいと考えており、収穫体験に取り入れやすいイチゴについて研究しています。このように将来に関連付けた作物を選ぶことで、より実践的に農業を深く学ぶことが出来ます。

農業大学校の魅力は、仲間とともに将来に向けて切磋琢磨し合うことで現場で即戦力になれるような知識・技術・資格を身につけることが出来ることだと思います。

農業は私たちの食を支える大切な職業です。北海道立農業大学校で私たちと一緒にスキルアップを目指しませんか?!

フォークリフト運転  
技能講習

車輛系建設機械  
(整地等)運転技能講習

毒劇物取扱者  
(農業用)

危険物取扱者  
(乙種4類)

日本農業技術検定



## 農業経営 研究科



環境保全演習(十勝千年の森)



6次産業化実践論

### 学科の特色

農業経営研究科では、農業経営者としての手腕を高めるための講義と演習、実習を行います。また、6次産業化に向けた農畜産物加工、マーケティングなどの技術と知識を高めます。経営形態により、畜産専攻または畑園専攻ゼミで学びます。

総合実習では学生の研究テーマに応じて先進農家や各専門研究機関などでスキルを高めます。担当職員と専攻ゼミ制により学生自ら設定した課題の解決に取り組みます。

自家就農、雇用就農、新規就農等の希望に応じて自家実習、農業法人での実習・視察、新規就農するための就農計画作成などを行います。アグリサポートコースでは北海道(普及職員)など農業系の就職支援も行います。

### 主な科目

農業経済、農業経営、農協・農業団体論、農業法人化論、財務管理、農業税務基礎、農業経営者実践論、長期計画演習、専門研究、卒業論文、総合実習Ⅰ・Ⅱ、研究課題計画演習Ⅰ・Ⅱ、6次産業化実践論、6次産業化実践実習、農業支援組織論、農業機械組織利用演習、農業政策、農業統計、環境保全演習、農業技術概論、先進農業特別実習、労働衛生・労働管理、ITビジネス論、作物栽培基礎、土壌肥科学、特別講座、アグリサポート演習Ⅰ・Ⅱ





総合実習Ⅰ（農大肉牛牛舎）



6次産業化実践実習（乳製品加工）



農業政策（外来講師）



総合実習Ⅰ  
（花野菜技術センター）



農大祭



農大市（販売実習）



総合実習Ⅱ（畜産専攻）



### 研究内容をより深く学びたい

農業経営研究科 上田 竜聖（足寄町出身 北海道立農業大学校畜産経営学科卒業）

出身は足寄町で非農家ですが、私は将来農業に関わる仕事に就きたいと考えています。そのため1から農業を始めるための基礎知識や経験を積みつつ、農業に関する技術習得、多様な資格を取得することのできるこの農業大学校に入学しました。

研究科では、5月から9月にかけて「総合実習」という学生一人一人が自由に研究テーマを決め、実習を行うことのできる科目があります。そこで私は「肉牛の多回給餌」というテーマのもと、農業大学校にある牛舎の一角で去勢素牛2頭を用いて実習を行いました。また8月には多回給餌を行っている農家さんへ視察に行き、私が農業大学校で行っている多回給餌は実際に農業を営む上でも時間的に可能なのか、など農業大学校でのシミュレーションでは分からないことを聞くことができ、研究の内容をより深いものにすることができました。私は、本校の養成課程から研究課程に進学したのですが、養成課程よりも時間の自由度が高いため、自分の知りたいこと、やりたいことにより多くの時間を割くことができます。その分、濃い内容の研究が行うことができます。養成課程終了後はぜひ研究課程への進学をお勧めします。研究課程で1年過ごし、養成課程より、知識や技術が身についたように感じます。農業への目標を持っているがまだ自分の知識、技術に自信のない方、迷いのある方、私たちと一緒に農業について学びませんか？新入生の入校を待っています。



# 稲作経営 専攻コース



## 学科の特色

稲作経営専攻コースは、稲作関係のカリキュラムを有する深川市の拓殖大学北海道短期大学(以下、拓大)に授業の大部分を委託し、拓大の農学ビジネス学科の学生として学びます。

農大では、拓大の夏・春各休み期間を利用して、2年間で計約40日の集中講義と体験学習や視察研修等を実施しています。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	拓大		集中Ⅰ		集中Ⅱ	拓大				集中Ⅲ		
2年次	拓大		体験学習		集中Ⅰ	異業種研修		拓大			集中Ⅱ	



稲作経営専攻コース 乗松 遥(新十津川町出身 北海道新十津川農業高等学校卒業)

私たちは、北海道立農業大学校の稲作経営専攻コースの学生ですが、普段の授業は深川市にある拓殖大学北海道短期大学の農学ビジネス学科環境農学コースで農業を学んでいます。

自家では、父が新十津川町で稲作を家族経営でしています。稲作のほかに、そば、とうもろこしも育てています。私は自然が好きということもあり、幼少期から父のお手伝いをしていました。中学の時に少し農業に興味があり農業高校に入ったものの、農業を通して楽しさや協力することの大切さを知った反面、辛さや苦しさも知りました。ですが私には「自分で作ったお米で人を笑顔にしたい」という夢があるので稲作経営専攻コースに進学しました。

農業大学校では、夏休みと春休みに農業簿記や経営管理を学びます。拓殖大学では、土壌管理学や作物栽培概論、病害虫管理学など将来農業をする上で必要な知識を得られます。他にも農業をするに当たってためになる授業がたくさんあり、農業に必要な資格を取得することができます。

私はこの2年間同学年には女子が1人で入学当初はすごく心配していましたが、みんな優しくしてくれて有意義な時間を過ごせていると感じています。将来に農業をするという同じ仲間がほとんどなので仲間を大切に、勉強に励んでいきたいと思っています。

## 主な科目

農業簿記、経営分析論、経営計画論、稲作技術論 等



# 農大なんでもQ&A

## Q 農大ってどんな学校なの？

**A** 本校は専修学校専門課程(農業)の学校に位置づけられ、卒業すると「専門士」の称号が付与されます。短期大学卒業者と同等以上の学力があると認められる者として、大学への編入学の資格も得られます。

## Q 農大の先生方ってどんな先生？

**A** 授業担当者は、本校職員(普及指導員)と外部講師(農業試験場職員・大学教授・農業機械メーカー職員・食品加工メーカー職員・税理士・農業者など)で構成されています。講義内容に応じてそれぞれのスペシャリストが先生になります。

## Q 農業高校出身でなくても、授業についていけますか？

**A** 在校生の約3割ほどが、農業高校以外からの入校生です。本校に入校後、農業の基礎的な科目から履修できるようになっており、次第に専門的な科目を履修することになります。農業実習も入門的な内容から次第に専門的な内容となるよう段階的に組み立てています。

## Q 寮はどんな生活ですか？

**A** 養成課程(畜産経営学科、畑作園芸経営学科)は全員が入寮することになります(男子は二人一部屋、女子は一人一部屋)。生活に慣れるまで先輩と同室となり、学習や生活のことを丁寧に教えてくれます。  
休日は、サークル活動や買い物、友達と遊びに行くなど自由に過ごすことができます。年末年始の閉寮期間以外は、三食全て食事が出ます。

## Q 1日の授業時間はどうなっていますか？

**A** 1時間当たりの授業時間は45分で、2時間で一つの授業となることが多いです。基本的には午前は講義(座学)、午後はプロジェクトや実習になり、ほ場での学習となります。

1時限 9:00～ 9:45	5時限 13:10～13:55
2時限 9:45～10:30	6時限 13:55～14:40
3時限 10:40～11:25	7時限 14:50～15:35
4時限 11:25～12:10	8時限 15:35～16:20
昼食 12:10～13:10	9時限 16:30～17:15



## Q 道外出身でも、入学できますか？

**A** 道外の方でも入学は可能ですが、本校は「卒業後、北海道内で就農の意思を有する」ことが受験資格になっていますので、注意が必要です。就農には、法人への雇用就農、酪農ヘルパーを含みます。

## Q 奨学金などの制度がありますか？

**A** 本校は、専修学校に位置づけられているため、日本学生支援機構の奨学金制度を利用できます。また、将来は自分の家で就農する、若しくは農業生産に関わる仕事をするなどの要件を満たすことによって、農業次世代人材投資資金の交付を受けることができます(所得制限があります)。







### 農大市

秋の本校産農産物の大販売会です。



### 強歩大会

明日の農業に必要な逞しい精神力と忍耐力を養うことを目的に、32.195kmを6時間で完歩します。



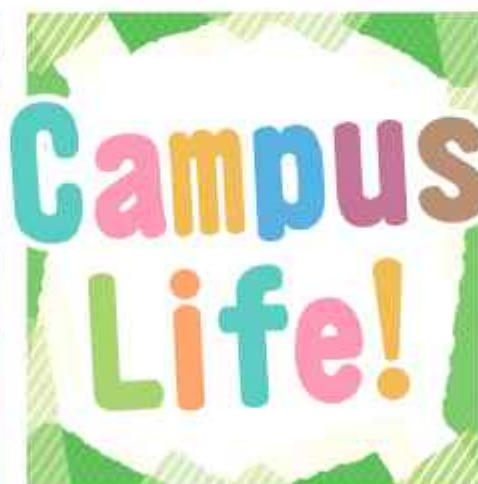
### プロジェクト発表会

一人ずつ1年かけて取り組んできた内容を発表します。



### オープンキャンパス

学生が主体となって農大の学習内容を紹介します。



### 農大祭

毎年7月に、学生が主体となって様々なイベントを行います。ぜひお越しください。



### 体育祭

日ごろ農業で培った体力を発揮して、全力プレーで頑張っています。



### 冬季体育大会

バレーボール、ドッジボールなどをして、運動不足を解消します。



### サークル・同好会

野球部、トレーニング部、ミニバレー部、温泉同好会など放課後や休日に活動しています。



## ■ 受験資格と試験科目

○畜産経営学科・畑作園芸経営学科・稲作経営専攻コース共通

●「推薦試験」と「一般試験」があり、受験資格と試験科目は次のとおりです。

受験資格	共通受験資格		試験科目	
	推薦	特別推薦受験資格	●高等学校若しくはこれに準ずる学校若しくは中等教育学校を令和7年3月に卒業見込みの者。 ●心身ともに健康で、本校卒業後、北海道内で就農が確実な者。 (親族が経営する農業経営体(農業法人の構成員を含む)に就農すること) ●次のいずれかの条件を満たす者。 ①調査書の評定平均値が3.5以上の者。 ②日本農業技術検定3級以上を取得している者。 ③部活動(農業クラブ活動含む)等で顕著な成績を収めた者。	○作文 ○面接
		一般推薦受験資格	●心身ともに健康で、本校卒業後、北海道内で就農の意思を有する者。	
	一般	一般試験受験資格	●高等学校若しくはこれに準ずる学校若しくは中等教育学校を卒業した者、若しくは令和7年3月に卒業見込みの者、又はこれと同等以上の学力を有すると知事が認めた者。 ●心身ともに健康で、北海道立農業大学校を卒業後、北海道内で就農する意思を有する者。 ●令和7年4月1日現在で40歳未満の者(昭和60年4月2日以降に生まれた者)。	○筆記試験 ・必須科目「国語総合」 ・選択科目「数学I」又は「農業と環境」のうちいずれか選択 ○面接
社会人選考試験受験資格		(上記一般試験受験資格要件に加え) ●高等学校若しくはこれに準ずる学校若しくは中等教育学校を卒業した者、農業若しくは農業以外の就業経験を概ね2年以上有する者で、本校卒業後、北海道内で就農する意思を有する者。	○作文 ○面接	

## ○農業経営研究科

●農業大学校養成課程の卒業若しくは令和7年3月に卒業見込みの者。 ●短期大学又は大学において農業に関する正規の課程を修めて卒業した者又は令和7年3月に卒業見込みの者、又はこれと同等以上の学力を有すると知事が認めた者。	○小論文 ○面接
---	-------------

## ■ 試験日程 ※入校検定料は、5,480円です。

課程・部門	区分	願書受付	試験日	合格発表	試験会場
養成課程・研修部門	推薦	9/17(火)~9/27(金)	10/7(月)	10/21(月)	東京
			10/8(火)		名古屋
			10/9(水)		大阪
			10/10(木)		本校・札幌
研究課程	一般	10/3(木)~10/11(金)	11/1(金)	11/14(木)	本校
	社会人				

## ■ 諸経費等

	畜産経営学科・畑作園芸経営学科		農業経営研究科(入寮生の場合)		稲作経営専攻コース	
	1年	2年	1年	2年	1年	2年
入校料	10,810	-	10,810	-	10,810	-
授業料	163,200	163,200	163,200	163,200	163,200	163,200
寮使用料 <sup>(1)</sup>	32,520~54,720	32,520~54,720	54,350	54,360	-	-
寮光熱水費	45,460	43,500~44,390	37,870~49,720	30,670~46,190	-	-
寮食費・清掃費 <sup>(2)</sup>	462,100	474,100	398,500	338,500	-	-
保険料・学生会会費 <sup>(1)(2)</sup>	75,580	103,580	81,210	82,210	-	-
教材・資格取得費 <sup>(2)</sup>	198,320~243,770	109,910~290,860	104,300~105,300	198,500~199,500	100,000	200,000
教科書代 <sup>(1)(2)</sup>	40,000	15,000	11,690	8,700	-	-
先進地農業視察研修費 <sup>(1)(2)(3)</sup>	-	200,000	-	-	-	-
合計	872,464~904,004	1,031,712~1,181,493	794,220~795,820	769,790~771,790	271,520	363,200
その他	○全寮制の2人部屋(女子は1人部屋) ○大型特殊自動車免許(できる限り入校前に取得) ○パソコン(入校前に仕様を説明)		○入寮は任意です(1人部屋)(入寮しない場合、寮関係経費は不要) ○パソコン(入校前に仕様を説明)		○拓大の授業料等は道が負担 ○集中講義に係る交通費及び深川市内の生活費は自己負担 ○大型特殊自動車免許(できる限り入校前に取得するのが望ましい)	

※直近の徴収額を基にした金額であり、変動する場合があります。また、学科・履修科目により徴収額は異なります。

※1:寮使用料は、入寮する建物によって異なります。 ※2:残金が発生した場合には返金します。 ※3:先進地農業視察研修は希望者のみです。





### ACCESS

- 十勝バス帯広陸別線…………… 本別下車→ハイヤーで10分
  - 十勝バス帯広陸別線…………… 仙美里小学校下車→徒歩で30分
- ※北海道立農業大学校までの公共交通機関はありません。
- とがち帯広空港→76.1km
  - 帯広駅から→62.9km
  - たんちよう釧路空港→67.9km

### お問合せ先

## 北海道立農業大学校

〒089-3675 北海道中川郡本別町西仙美里25-1

入校・出願に関するお問合せは教務部まで

TEL (0156) 24-2121 (代表) TEL (0156) 24-2122 (教務部) FAX (0156) 24-2421



URL <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ngd/>

E-mail [nodai.kyomu1@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:nodai.kyomu1@pref.hokkaido.lg.jp)



<https://www.facebook.com/nougyoudaigakkou/>



[https://www.instagram.com/hokkaido\\_nodai/](https://www.instagram.com/hokkaido_nodai/)